



音更ロータリークラブ



ロータリー:
変化をもたらす

起立：広瀬 敏之SAA
点鐘：阿部 英暉会長
開会宣言：広瀬 敏之SAA

例会報告	第1144回	2017年12月20日
例会日	水曜日 12:30~13:30	
創立	平成5年10月19日	
会長	阿部 英暉	
副会長	佐藤 誠吾	
幹事	大和 志郎	
事務局・例会場	河東郡音更町木野大通西7丁目1 ハピオ木野内	

[2017~2018年度スローガン]

『友情と勇気と情熱をもってロータリーを楽しもう』 — 友愛こそ力なり —

会長挨拶

みなさんこんにちは、先週10日年末家族会は大勢のメンバーと家族の皆様に参加して頂き、みなさんそれぞれ思考を凝らした仮装を十分楽しませて頂きました。

親睦家族委員会平尾委員長はじめ委員会の皆さん大変ご苦労さまでした。

さて、年末も近いことから今日は、門松の意味を少々お話させていただきます。

門松とは、正月に家の門などに立てられる松や竹の正月飾りのこと。

松は「祝る」につながる樹木であることや、古来の中国でも生命力、不老長寿、繁栄の象徴とされてきたことなどもあり、日本でも松をおめでたい樹として、正月の門松に飾る習慣となり平安時代から松飾が始まり室町時代から竹が松に添えるかたちになり現在の現形になり根付いてきた。

松飾・飾り松・立松とも言われており松には神が宿ると考えられ、新しい年が来たことを告げる歳神様が天から降りてくる『お依代』という意味です。

お正月に、歳神様が自分の家に寄ってくれて、今年1年の幸福をもたらしてくれ様に目印として、置いておくわけです。

竹の先は、斜めに切った【そぎ】と節のところで切った【寸胴(ずんどう)】の2種類があります。もともとは、寸胴でしたが、「三方ヶ原の戦い」で竹田信玄に負けた徳川家康がその戒めに竹の頭を、斜めにそぎ落としたのが最初と言われております。

では、何時から何時まで飾るのでしょうか、基本的には、松の内に入る12月13日から1月7日までが良いとされておりますが、現代では、クリスマスなどがありますので、その以降に飾り1月15日の小正月まで飾るのが多いようです。

ただ、12月の29日と31日はいけません。29日は二重の苦と読めてしまいます(苦待つ・苦松)となります。31日は神様を迎える、正月まで1日しかなく「一夜飾り・一日飾り」になってしまい神様に無礼なので避けないといけません。などなど参考にしていただければと思います。



ニコニコ献金

阿部会長「先日の家族会楽しませていただきました。親睦委員長・委員のみなさまご苦労さまでした。」

坂本会員「マンゴーおいしかったです。」

平尾会員「年末家族会たくさんのご参加ありがとうございました。」

若原委員「年末家族会楽しかったです。」

栗栖会員「先日は楽しい年末家族会をありがとうございました。」

